



地域と医療のコラボレーション

ハーモニー

Harmony ♪

第8号



2007 / JANUARY

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

平成十九年年頭所感

病院を明るく！

東大宮総合病院の院内照度は約350ルククスぐらいで、一般的な院内照度の800ルククスに比べ少し暗いイメージがあります。本年初頭には院内の内装を変えて、明るく温かみのある雰囲気を作る予定です。今年に予定されている事業は、病院のコンピュータの入れ替えと院外薬局の設置が大きなものです。院内IT化が進み、内装が改善されると、次にはサービスと質の向上が必要になります。今年には栄養サポートチームを更に強化して、院内褥瘡を撲滅したいと考えています。各種学会の専門医制度による認定も今年は更に強化されます。現在13学会の認定を取っていますが更に4学会の認定が追加されます。

病院にとって医師の確保は死活問題ですが、現在医師の有効求人倍率が約5倍と医師の確保が全国的に困難となっています。理由は様々ですが、医師の集まる病院とそうでない病院とがはっきりと分かれてきていることは確かです。先にあげた病院のIT化や専門医制度の認定、臨床研修指定、病院機能評価認定などは医師や

看護師の集まる必須条件といえます。東大宮総合病院はこの点強みがあり、比較的医師の採用には好条件が揃っています。今後も各科の医師の強化には全力を挙げて臨みます。最後に、今年も昨年と同様健全な病院経営に努力したいと思えます。

病院理念 愛し愛される病院

～ 行動指針 ～

1. 私たちは、わかりやすい言葉で説明します
2. 私たちは、理解と同意のもとで正しい医療を提供します
3. 私たちは、誤りを素直に認め直す努力をします
4. 私たちは、患者さまの満足で提供した医療の質を評価します
5. 私たちは、診療経過を正確に記録に残します
6. 私たちは、患者さまの訴えや要望に応えるよう心がけます
7. 私たちは、笑顔を忘れず優しい言葉で接し、迅速な対応を心がけます



東大宮総合病院
院長 坂本 嗣郎

診療科だより

歯科口腔外科



歯科口腔外科 部長
山口 昌彦

しかこうくうげか 歯科口腔外科とは・・・

埋まっている親不知の抜歯をはじめ、顎口腔領域の外傷、腫瘍、炎症、嚢胞、顎関節症や唾液腺疾患、口腔乾燥症、インプラント治療などを行なっております。

かがくこつこっせつ 下顎骨骨折

交通事故、スポーツ外傷や転倒、またあるときは喧嘩（殴打）などにより下の顎の骨（下顎骨）が骨折することがあります。下顎骨が骨折すると骨に付着している筋肉（咀嚼筋）の關係で骨は偏位を起し、正常に噛み合わせる事が不可能になります。そのため、咀嚼障害から食事を摂取することが難しくなり

ます。そこで口腔外科では偏位した骨を正常な位置に整復し固定することでもっとどおりの咬合状態に改善します。その治療法には大きく分けて二つの方法があります。

ひかんけつてきせいふくこていじゅつ

① 非観血的整復固定術

この方法は手術をせずに偏位した骨折部を徒手で整復します。そして特殊なシーネと金属ワイヤーを用いて上顎と下顎を縛って固定するいわば口の中のギブスのようなものです。これを顎間固定といいます。これは主に偏位の小さい症例に用いられます。固定期間は約30日〜40日間を要し、その間は口が全く開かない状態になりますが、会話もできますし、食事も流動食なら摂取可能です。

かんけつてきせいふくこていじゅつ

② 観血的整復固定術

手術をして骨折部を整復し固定します。固定には金属製（チタン）のプレートを用い強固に固定し、約7日間ほど顎間固定を併用します。この方法は徒手での整復が困難な場合や、骨折部の偏位の大きい症例に用いられます。また、顎間固定の期間が7日程度と短いことから、偏位の小さい症例でもこちらの方法を選択される患者様もいらっしゃいます。約1週間で口が開くようになり、また食事も通常通りに摂取できるようになるといった利点があることから早期に社会復帰が可能となります。固定に使用した金属プレートは約6カ月後に除去します。最近では吸収性のプレートもありますが、機械的強度の面から使用できない症例もあります。

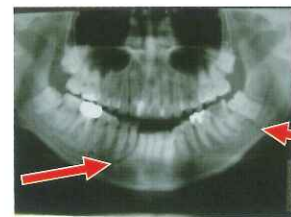
観血的整復固定術

骨折部を整復し固定する手術を紹介します



骨折部

骨折により咬み合わせにズレが生じている状態



2ヶ所に骨折線が認められる



それぞれの骨折部を金属プレートにて固定



咬み合わせは元通りに回復した



術後のX線写真

顎間固定とプレート固定がされている

肥満

増加する日本人の肥満

肥満とは、体脂肪が身体に過剰に蓄積された状態のこと。肥満は体重や見た目ではなく身体のかなの脂肪の割合で決まります。体脂肪は身体の中で大切な働きをしているので、多すぎても少なすぎても問題があり、適当量が必要です。

日本人の摂取エネルギーは減少傾向にもかかわらず、肥満が増えている理由として、食事の脂質が多い、運動量が少ない、生活リズムの乱れなどが挙げられます。肥満を招く原因は、なんとと言っても食べすぎです。食事の回数、食べる速さなど、食習慣も影響します。

あなたは大丈夫？ こんな人は内臓脂肪型肥満かも...

- 脂っこいものや甘い物をよく食べる
- アルコールをよく飲む
- 血糖値が高い、または高脂血症である
- お腹がポッコリ出ている
- 運動不足だと感じる
- お腹が出ている割に脂肪をつまんでもそれほど厚みがない

右のチェック項目で2つ以上当てはまった人は要注意！
内臓脂肪の蓄積は動脈硬化を招く危険因子として関係していることが分かっています。特にウエスト周囲径が男性85cm、女性90cm以上の場合には健診をお勧めします。

肥満を防ぐには...

- ① エネルギーを摂り過ぎない
- ② 色々な食品を食べる
- ③ 野菜、海藻、きのこをたっぷり摂る
- ④ たんぱく質をしっかりと摂る
- ⑤ 飲酒は適度に
- ⑥ 適度な運動を



はじめの一步は、
まず行動を変えること！
そのうちに・・・ではなく、
さあ、今日から始めましょう。

8月29日(火) 東大宮自治会館にて

東大宮自治会 寿クラブからの要望から、「腰痛、骨折等の予防と対策」をテーマに、リハビリ科 小山係長による講話が行われました。

平均年齢75歳という来場者のほとんどが腰や肩、膝など体のどこかに痛みを持ちながら生活しているため、日常生活で気をつけることや気をつける動きなど、熱心に聞き入っていました。

特に足指体操は簡単にでき、効果抜群とのこと。「この体操を毎日続けるぞ！」と言って帰る方がたくさんいらっしゃいました。(Y.T)



出張健康講話

地域の皆さまの健康に役立つ講話

10月11日(水) 東大宮5丁目自治会館にて

「口の中の病気」をテーマに歯科口腔外科 鈴木医長による講話では、身近な虫歯のことや歯周病の説明があり、毎日の歯磨きは思った以上に大切だという説明もありました。

普段ではあまり目にしない舌や口腔内にできる様々な珍しい腫瘍の写真を見て、「歯医者」と「口腔外科」の違いを知り、どんな症状のときに口腔外科で診てもらおうべきなのかを、みなさん理解されたようです。(Y.T)



訪問介護

ホームヘルパーがご自宅まで訪問し、介護や家事援助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

- 身体介護：食事の介助 / 入浴・更衣の介助 / 身体清潔 / 排泄の介助やおむつ交換 / 体位交換の介助 / 通院・外出の介助
- 家事援助：掃除や整理整頓 / 洗濯 / 買い物 / 布団干し / 食事調理・配膳・片付け など

お問い合わせは・・・

東大宮ヘルパーステーション

☎ 048-688-5025 (直通)

訪問看護

看護師がご自宅まで訪問し、療養上の世話(看護)や診療の補助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

- 健康状態の観察と助言 / 清拭、洗髪や入浴の介助 / 褥瘡などの処置 / 療養環境の整備 / 留置カテーテル、各種医療機器の管理と指導 / 介護者の健康管理と精神的支援 / かかりつけ医の指示による処置・検査 / 理学療法士によるリハビリテーション など

お問い合わせは・・・

東大宮訪問看護ステーション

☎ 048-688-8388 (直通)

医療相談

病気やけがをすると、健康なときには考えなかった不安や心配事、患者さまやご家族の経済的・社会的な問題が起こってきます。そんなとき、当相談室をご利用ください。

たとえば・・・

- 当院の療養病棟、回復期リハビリ病棟の利用について
- 社会福祉制度(介護保険など)や施設、専門病院などの利用について
- 健康保険・年金など社会制度について
- 治療費や入院費、残された家族の生活費など、経済的な心配について・・・など

お問い合わせは・・・

東大宮総合病院

☎ 048-684-7111 (代表)

医療相談室

当院の

数字アラカルト

外来患者数	760.6人/日
入院患者数	276.3人/日
在院日数	15.9日
ベッド稼働率	87.2%
紹介率	22.1%
救急件数	228.3件/月
訪問看護	632.6件/月
訪問介護	800.6件/月
訪問リハビリ	176.5件/月

(平成18年7~10月平均)

東大宮総合病院指定 訪問リハビリテーション事業所開設

当院リハビリテーション科では、平成18年10月より訪問リハビリテーション事業所を開設いたしました。



訪問リハビリテーション事業所は「今よりもっと…」を合言葉にリハビリテーションを提供しています。具体的な内容としては、在宅生活を送る上で行う各種動作(起き上がり、立ち上がり、歩行等)の練習や実際の生活行為練習(トイレ、入浴、着替え等)を行っています。

入院中から在宅生活までサポートできるリハビリテーション科として今後もスタッフ一同がんばりますので、お気軽にご相談ください。

詳しい内容のお問い合わせはこちらまでご連絡ください→

東大宮総合病院リハビリテーション科
(訪問リハビリテーション事業所)
☎ 048-684-7111 (代表)

編集後記

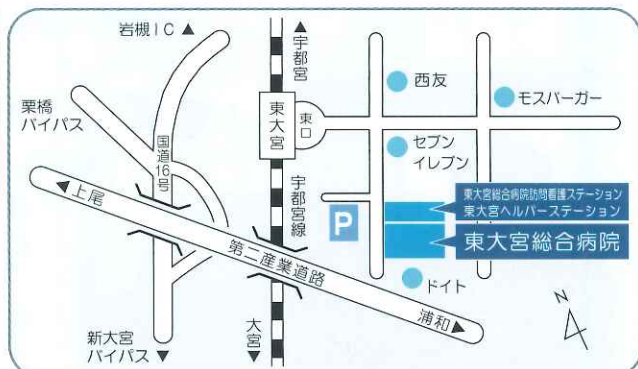
あけましておめでとうございます。
今年では自動再来機、自動精算機の導入などで昨年とは違う東大宮総合病院になりそうです。これからも地域の皆さまに頼られる急性期病院となるよう心を新たに努力しなくてはと思っています。本年もよろしくお祈り致します。

医療法人社団協友会

東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車
東口より徒歩3分



HIGASHI OMIYA